

令和2年度「学術変革領域研究（B）」新規採択研究領域  
に係る研究概要・審査結果の所見

領域番号	20B302	領域略称名	霊長類発生学
研究領域名	霊長類発生学研究の基盤構築		
領域代表者名 (所属等)	中村 友紀 (京都大学・医学研究科・特定助教)		

(応募領域の研究概要)

ヒト胚発生において着床後は、ダイナミックな形態変化を伴いながら原腸陥入や臓器原基形成など“個”の起始に関わる重要な生命現象を開始する時期である。にも関わらず、倫理的問題を含むいくつかの決定的な阻害要因により、この時期のヒト胚発生メカニズムはほぼ未解明である。近年、ヒト着床後胚の発生研究発展に対する機運が世界的に急速に高まっているが、本研究領域提案ではこの先頭に立ち、霊長類を用いた「霊長類着床後胚発生研究の基盤創設」を目指す。

(審査結果の所見)

霊長類の胚発生メカニズムの解明という観点から、カニクイザルとマーモセットを用いて、霊長類試験管内「疑似着床」胚発生モデルの基盤構築と、霊長類研究のための先進的発生工学技術の開発を推進する提案である。ヒトの胚を用いた研究が困難であることから、その研究意義は非常に大きい。

優れた業績と独創性、先駆性を持った研究者による計画研究内の有機的な連携が計画されており、国際的にも高い競争力を持って、波及効果の高い成果が期待される。